

(5) 東海



東海地域では、景気は力強く回復している。

- ・ 鉱工業生産は堅調に増加している。
- ・ 個人消費は緩やかに回復している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

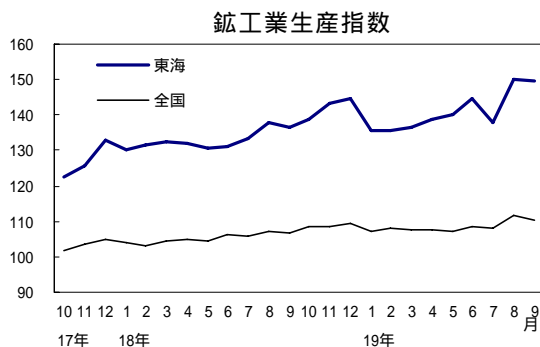
前回調査からの主要変更点

	前回（平成 19 年 8 月）	今回（平成 19 年 11 月）	
住宅建設	減少	大幅に減少	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は堅調に増加している。

輸送機械は、完成車の国内向けが引き続き伸び悩んでいるものの、海外は欧州向けを中心に好調だったことや、自動車部品の輸出が好調だったことなどから、高水準で推移している。一般機械は、金属工作機械は海外需要が欧米向けを中心に、産業ロボットは国内外向けにそれぞれ堅調だったことから、高水準で推移している。電気機械は、内燃機関電装品や電動機が自動車関連向けを中心に堅調に推移し、制御機器も半導体関連向けを中心に好調だったことから、高水準で推移している。窯業・土石は、食器・陶磁器、タイルなどが引き続き低調に推移したものの、ファインセラミックスは自動車向けを中心に堅調だったことから、増加している。化学は、自動車関連向けが好調だったことなどから、高水準で推移している。電子部品・デバイス、半導体素子・集積回路が携帯音楽機器向けを中心に、液晶素子がテレビ、携帯電話など情報通信機器向けに好調だったことなどから、高水準で推移している。



- (備考) 1. 12年=100、季節調整値。
2. 平成19年9月の東海は速報値。

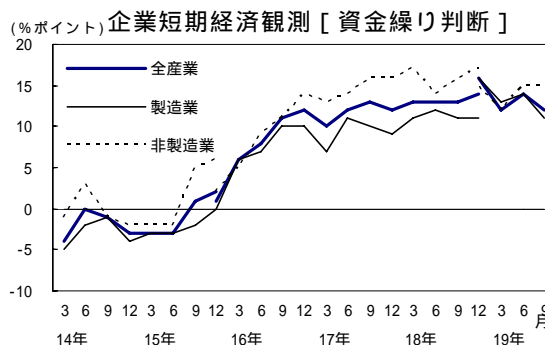
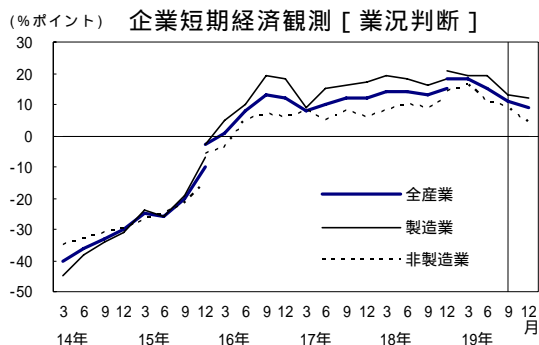
域内主要業種の動向(季節調整値、前期比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産		出荷		在庫	
		4~6 月期	7~9 月期	7~9 月期	7~9 月期		
輸送機械	33.9	3.6	1.3	2.6	4.2		
一般機械	11.3	5.5	0.2	0.7	6.1		
電気機械	7.3	0.6	0.6	1.2	3.6		
窯業・土石	6.1	2.5	1.3	0.7	1.4		
化学	5.4	3.4	2.5	1.9	3.0		
鉱工業	100.0	3.9	3.2	3.8	1.7		

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 7~9月期は速報値。
3. 生産指数は東海、出荷、在庫指数は中部。

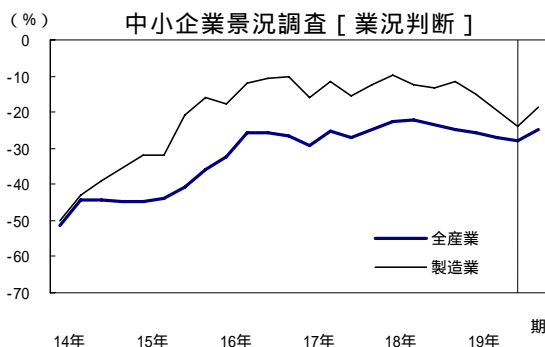
(2) 企業動向の業況判断は「良い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ縮小している。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。19年12月は予測。
15年12月および18年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
15年12月および18年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。19年 期は見通し。
中部地区。

景気ウォッチャー調査(10月)[企業動向関連(現状)]

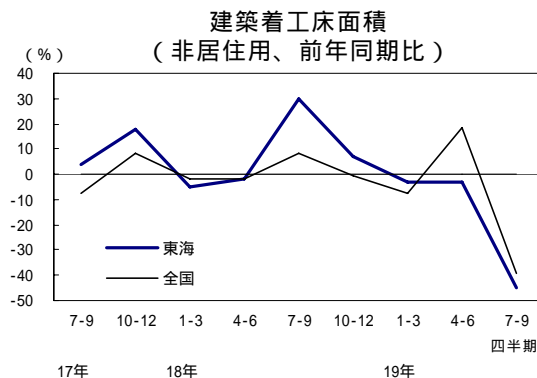
「マンションの売行きは良いが、住宅地では、駅前の好立地や中心部の高額物件でも、売れ残りが出始めている(経営コンサルタント)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(3) 19年度の設備投資は前年度を上回る計画となっている。

企業短期経済観測調査[設備投資(9月調査)]

	(前年度比、%)	
	18年度実績	19年度画
全産業	11.0	9.2 [9.4]
製造業	2.6	2.7 [2.9]
非製造業	29.4	20.4 [20.7]

(備考)[]は前回(6月)調査結果。

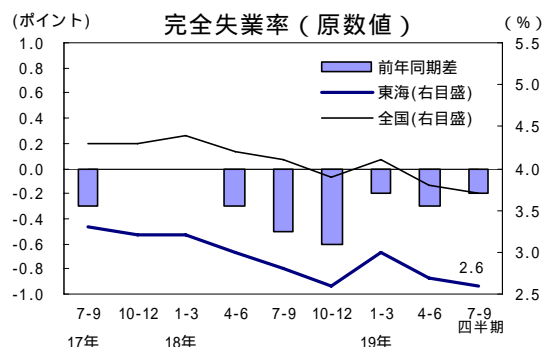
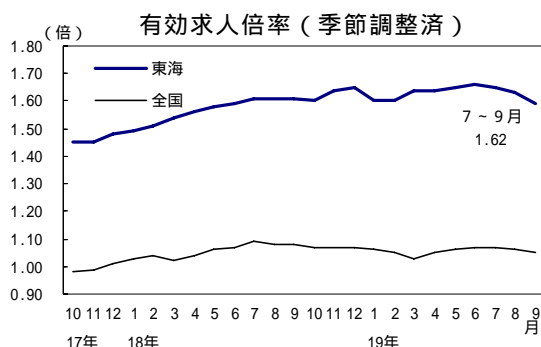


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前年同期を下回っている。



景気ウォッチャー調査（10月）[雇用関連（現状）]

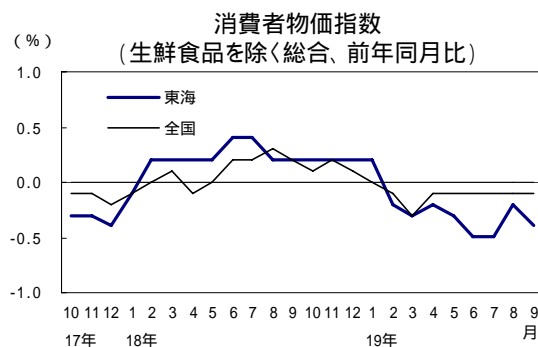
「求人数、求職者数共に、季節的要因により多少の増減はあるものの、大きな変動はない（職業安定所）」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに増加している。

(3) 消費者物価指数はおおむね横ばいとなっている。

企業倒産

	（件、億円、％）				
	18年10-12月	19年1-3月	4-6月	7-9月	19年10月
倒産件数	323	319	307	349	128
（前年比）	5.6	3.2	2.3	21.2	13.3
負債総額	939	886	755	1,993	161
（前年比）	36.1	11.5	45.8	94.7	27.8



景気ウォッチャー調査（10月）[合計（特徴的な判断理由）]

<現状>

・東京モーターショーの影響により、海外からの客が多く、増収につながっている。自動車メーカーによる法人利用も、好調である（都市型ホテル）。

<先行き>

・名古屋駅前地区では、新しい高層オフィスビルが完成してから初めてのクリスマス、ボーナス期を迎える。キャリア層の需要が見込まれる（百貨店）。

